

**〈令和3年度〉ミライカナエル活動サポート事業 協働コース（行政との協働）**

<b>団体名</b>	特定非営利活動法人 自立生活サポートセンター・もやい
<b>事業名</b>	孤立状態にある人と共に生きるための畑作り
<b>担当課</b>	地域共生社会推進室
<b>事業期間</b>	2021年（令和3年）4月1日～2023年（令和5年）3月31日〈事業1年目〉
<b>事業費</b>	920,418円（うち藤沢市負担金920,418円）

**事業の目的**

誰一人として取り残されない社会にしたい。孤立状態から抜け出すための「畑」を使った地域での仕組みが継続して運用され、誰もが何かしらの役割をもち、地域や社会の中で、助け合い、ともに生きていけるようになること。そして、このモデルが他の地域コミュニティにも広がることにより、貧困問題のみならず農業従事者の減少や耕作放棄地の問題など、他の社会問題の解消にも寄与していけるようになること。

**事業の内容と成果・効果**

- 2021年4月 参加者募集のチラシを作成  
〈もやい〉ホームページにて畑を告知、活動報告を掲載  
畑での活動スタート（毎週木曜日）
- 2021年7月 農スクール様の見学者受け入れ
- 2021年8月 BS朝日の撮影受け入れ  
藤沢市市民活動推進機構様のインタビューを受ける
- 2021年9月 見学会および収穫祭の企画開始  
民生委員児童委員協議会会長会での周知  
見学会案内および収穫祭チラシ作成
- 2021年10月 見学会および収穫祭を開催
- 2021年11月 藤沢市のFMラジオ広報番組取材対応  
参加者への振返りを兼ねたインタビューを実施
- 2021年12月 NPO法人フェアスタートサポートのパートナーに登録
- 2022年2月 遠藤地区「みんなの人生会議」に参加  
（成果・結果）

畑の参加者数 延べ359名（藤沢市民41名）

地域イベントへの参加 1回（遠藤地区「あなたの人生会議」）

畑を通じたイベント 2回（見学会/収穫祭）



（写真上）見学会にて畑の説明

（写真下）じゃがいもの植えつけ



**事業を実施しての課題・今後の取組**

（課題）

1. 地域からの参加者や他団体との連携があまり進んでいない。
2. 畑の魅力を伝えるための発信が少ない。

（今後の取組）

1. 藤沢市から参加者を増やす。  
畑でのイベントおよび畑以外のイベントを行い、開催回数を増やす。  
民生委員の研修などの受け入れ先になる。他団体との連携を企画していく。
2. 「もやい畑の会」の仕組みづくり  
畑の継続にかかせない「もやい畑の会（応援隊）」を30口募る。
3. 発信をもっと行っていく。  
〈もやい〉のホームページとは別に、もやい畑の専用の活動報告を別サイトで行う。  
もやい畑に看板を置く。